

第51回熊本県地方港湾審議会における諮問議案への 御意見等に対する事務局回答

第1号議案 八代港港湾計画の変更

(御意見)

○令和8年熊本地震のような大規模地震災害に備えるための重要な対策であることは間違いなく、是非、着実に推進し、災害後の復旧作業に広くご活用いただきたい。

付随意見として、日奈久断層帯が活動した場合、津波及びそれに伴う副振動への対応が必要となるため、今後、津波対策の検討が重要。さらに、地盤沈降による排水対策についても併せて検討する必要があると考えます。

(回答)

八代港には多くの企業が立地しており、地震に伴う津波への対応は、港湾を利用する多くの人々の生命や経済活動を守るために重要と考えております。

津波発生時、港湾内に滞在している方が迅速かつ安全に避難できるよう、避難方法や情報伝達のあり方について、県の防災部局や八代市とも連携して検討を進めてまいります。

また、地盤沈降による排水対策についても、復旧の設計の中で、検討してまいります。

第2号議案 本渡港港湾計画の変更

(御意見)

○今回の計画変更について同意いたします。

付随意見として、令和8年熊本地震の教訓を踏まえ、地震対策に加え津波対策についても、併せて策定することを推奨する。

○漁協関係者の理解を得るためにも、防災上の利点なども加えて説明してはどうか。

(回答)

本渡港では、地域住民だけでなく、多くの観光客の利用が想定されることから、滞在中に津波が発生した場合の円滑な避難が重要と考えております。

計画する橋梁の避難の際の活用や、避難方法の周知など、円滑な避難のあり方についても県の防災部局や天草市とも連携して検討を進めてまいります。